

平成23年度
北海道ホームヘルプサービス協議会
スキルアップ研修 開催要綱

1. 趣 旨

ホームヘルプサービスは、日常的に介護を必要とする障がい者（児）や高齢者の地域生活を支え、その家族や介護者を支援し、自立支援を目的としたサービスを行う重要な役割を担っています。

そこで、本研修は、専門職としての接遇・マナーを学ぶとともに、介護を必要とする方へのサービス提供において、必要とされる知識や技術の研鑽を図り、ホームヘルパーとしての資質向上を図ることを目的として開催いたします。

2. 主 催 北海道ホームヘルプサービス協議会

3. 開催地（定員）・開催日・会場

（道内3会場 各1日間）

開催地	定員	開催日	会場	申込締切日
札幌市	150	平成23年 10月29日（土曜日）	東京ドームホテル札幌 地下2階「ピアリッジ」 札幌市中央区大通西8丁目 TEL:011-261-0111	10月14日（金）
旭川市	100	平成23年 11月19日（土曜日）	旭川トーヨーホテル 2階「丹頂の間」 旭川市7条7丁目右1号 TEL:0166-22-7575	11月4日（金）
釧路市	100	平成23年 12月17日（土曜日）	釧路市生涯学習センター 2階「多目的ホール」 釧路市幣舞町4番28号 TEL:0154-41-8181	12月2日（金）

※札幌・旭川会場と釧路会場の開会・閉会時間が異なりますので、日程を御確認ください。

4. 参加対象 ホームヘルプサービス従事者（概ね実務経験5年未満のホームヘルパー等）

5. 参加費 北海道ホームヘルプサービス協議会会員・準会員 1,000円
上記以外 3,000円

6. 申込方法等について

- ・別紙<参加申込書兼アンケート>に必要事項を御記入の上、申込締切日までにFAXまたは郵送にてお申込みください。アンケートによる御意見に基づき、必要な情報等の御提供をしたいと考えておりますので、差し支えない範囲でお答えください。
- ・申込みいただいた方で、定員超過等のため、参加をお断りする場合は、開催日の7日前までに、別途本会より御連絡いたします。

7. 昼食・宿泊について

- ・昼食については、1食1,000円で斡旋いたします。昼食希望の有無について、参加申込書に御記入ください。なお、昼食を希望されない方は、各自にて御用意ください。
- ・宿泊が必要な方については、各自にて手配ください。

8. 留意事項

- ・各会場の振り分けはありませんが、できるだけ、事業所の所在する会場の近くの会場をお申し込みくださいますようお願いいたします。
- ・駐車場につきましては、会場により状況が異なります。詳しくは、各会場にお問い合わせください。
- ・「重度介護者を想定した介護技術について」では、実技を予定しておりますので、動きやすい服装でお越しください。

9. 日程・内容

○札幌・旭川会場

時 間	内 容
9:00~9:50	受 付
9:50~10:00	開 会
10:00~12:30	<p>講演1・実技「重度介護者を想定した介護技術について」 重度介護者を想定した介護技術について、利用者の身体状況の把握や残存機能を見極める視点を養い、片麻痺・パーキンソン病・リウマチ・筋ジストロフィー・筋萎縮性側索硬化症（ALS）等機能別の介護技術について実技を通して学びます。</p> <p>札幌会場：講師 鈴木 英樹氏（北のくらしと地域ケア研究所（キタライフ） 代表） 上野 千恵氏（秀友会在宅リハビリテーション） 齊藤 貴将氏（訪問看護ステーションポット東）</p> <p>旭川会場：講師 酒井 安弘氏（老人保健施設さくら館 理学療法士・係長） 佐田 真吾氏（老人保健施設さくら館 理学療法士） 林 啓太氏（デイサービスさくら物語 相談員）</p>
12:30~13:30	昼食・休憩
13:30~15:10	<p>講演2「ホームヘルパーに求められる接遇・マナーについて」 介護現場においては、利用者や家族とサービスを提供する介護者との間によりよいコミュニケーション、いわゆる意思の疎通が図れて、初めてよい対人援助関係が成立します。利用者の尊厳を支え、希望や可能性を実現するためには、利用者をよく理解し、利用者との信頼関係を作ることが必要です。</p> <p>ここでは、ホームヘルパーに求められる具体的な接遇・マナーを身に付けるとともに、利用者とのコミュニケーションのとり方やサービス事業者の心得について学びます。</p> <p>講師 後藤 ひろみ氏（株式会社 アムリプラザ マネジメント・コンサルタント）</p>
15:10~	閉 会

○釧路会場

時 間	内 容
10:00~10:40	受 付
10:40~10:50	開 会
10:50~12:30	<p>講演1「ホームヘルパーに求められる接遇・マナーについて」 介護現場においては、利用者や家族とサービスを提供する介護者との間によりよいコミュニケーション、いわゆる意思の疎通が図れて、初めてよい対人援助関係が成立します。利用者の尊厳を支え、希望や可能性を実現するためには、利用者をよく理解し、利用者との信頼関係を作ることが必要です。</p> <p>ここでは、ホームヘルパーに求められる具体的な接遇・マナーを身に付けるとともに、利用者とのコミュニケーションのとり方やサービス事業者の心得について学びます。</p> <p>講師 後藤 ひろみ氏（株式会社 アムリプラザ マネジメント・コンサルタント）</p>
12:30~13:30	昼食・休憩
13:30~16:00	<p>講演2・実技「重度介護者を想定した介護技術について」 重度介護者を想定した介護技術について、利用者の身体状況の把握や残存機能を見極める視点を養い、片麻痺・パーキンソン病・リウマチ・筋ジストロフィー・筋萎縮性側索硬化症（ALS）等機能別の介護技術について実技を通して学びます。</p> <p>講師 鈴木 英樹氏（北のくらしと地域ケア研究所（キタライフ） 代表）</p>
16:00~	閉 会

10. 問い合わせ先

北海道ホームヘルプサービス協議会事務局（担当：前田・片山）
 北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター2階
 TEL 011-241-3977（直） 241-3976（代） Fax011-271-3956